

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

## STORING CASE

Patent Number: JP5213387  
Publication date: 1993-08-24  
Inventor(s): TOMURA TATSUYA; others: 02  
Applicant(s):: RICOH CO LTD  
Requested Patent:  JP5213387  
Application Number: JP19920037166 19920127  
Priority Number(s):  
IPC Classification: B65D85/57  
EC Classification:  
Equivalents:

---

### Abstract

---

PURPOSE: To contrive the shortening of retrieval time by retrieving information to some extent without driving a medium actually.

CONSTITUTION: A storing case 1 has the shape of a book or notebook and encloses paged leaves between its front and rear protective covers. A recess part 2 is formed through the stacked paged leaves and an optical disk cartridge 3 is stored in the recess part 2. Each of the paged leaves is provided with an information recording blank space 5 on its area other than the recess part 2 with file name, etc., added thereto. The information recording blank space is also provided in a backbone 4.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-213387

(43)公開日 平成5年(1993)8月24日

(51)Int.Cl.  
B 65 D 85/57

識別記号 域内整理番号  
H 7445-3E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数5(全4頁)

(21)出願番号

特願平4-37166

(22)出願日

平成4年(1992)1月27日

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 戸村 咲也

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(72)発明者 佐藤 効

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(72)発明者 佐々木 登

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

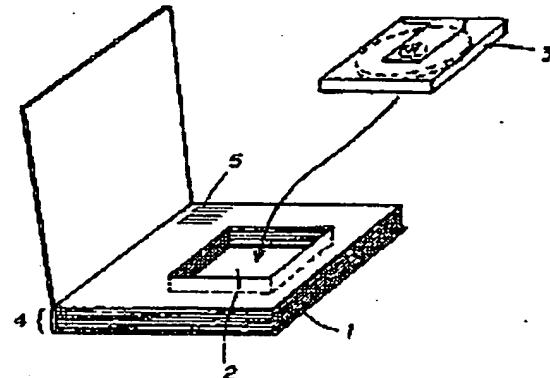
(74)代理人 弁理士 高野 明近 (外1名)

(54)【発明の名称】 収納ケース

(57)【要約】

【目的】 媒体の実駆動によらない検索時間の短縮化を図ること。

【構成】 収納ケース1は、本又はノート状の形態をとっており、表紙と裏表紙の間にはページ部分を有している。該ページ部分には凹部2が設けられ、該凹部2に光ディスクカートリッジ3が収納される。該凹部2以外の中味の各ページには情報記録領域5が設けられ、該情報記録領域5にはファイル名等が付記される。また、背表紙4にも情報記録領域等が設けられる。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 本又はノート状の形態をとり、該本又はノート状の形態の中味のページ部分が、光記録媒体及び／又は光ディスクカートリッジを収納できる形状にくりぬかれた凹部を有することを特徴とする収納ケース。

【請求項2】 前記凹部以外の各ページ部分に、情報記録領域を設けたことを特徴とする請求項1記載の収納ケース。

【請求項3】 前記凹部が、前記光記録媒体及び／又は前記光ディスクカートリッジを複数収納できる1つ又は複数の凹部であることを特徴とする請求項1又は2記載の収納ケース。

【請求項4】 前記凹部に光記録媒体を保持するセンターポスを設けたことを特徴とする請求項1、2又は3記載の収納ケース。

【請求項5】 前記本又はノート状の形態の背表紙部分に、情報記録領域を設けたことを特徴とする請求項1記載の収納ケース。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【技術分野】 本発明は、収納ケースに関し、より詳細には、光記録媒体及び／又は光ディスクカートリッジの収納ケースに関する。例えば、フロッピーディスクや光カードの収納ケースなどに適用されるものである。

## 【0002】

【従来技術】 従来、小型・軽量で携帯に便利なカード状情報記録媒体として、基板上に磁気記録領域を設けた磁気カードが広く用いられており、情報社会の進展に伴い年々情報の高密度化が進んでいる。また、磁気カードに比べて更に高密度の情報記録が可能で、記録・再生及びアクセス速度の早いカード状の光学的情報記録媒体、いわゆる光カードの利用も盛んに行われている。しかしながら、このようなカード表面の微細な傷・塵埃・油等が、正確な記録・再生の妨げとなるという問題点があった。

【0003】 この点を解決するために、例えば、特開平1-258284号公報に「光学的記録媒体の収納ケース」が提案されている。この公報のものは、光カードを出し入れするための出入口部から塵埃が入ったり、光カードに傷や油が付かないようにするために、開口部にシャッタ機構を設けたものである。すなわち、コンパクトで記録媒体の保護を主な目的としているものである。

【0004】 光記録媒体は、磁気ディスク、フロッピーディスクに比べ記録容量が大きく、媒体そのものがリム一パブルであるというメリットを有しているが、大容量であるがゆえに、媒体の中の情報を検索するのに時間がかかり、近年になって検索をスムーズに行えるような、ソフト的な改善が行なわれてきている。しかしながら、上記ソフト面の改良では、媒体そのものをドライブ内に挿入し、実駆動しなければ実際の検索は行えず、似かよ

10

った情報が格納されている媒体の枚数が増えれば増えるほど、検索に時間がかかるという欠点がある。また、光記録媒体あるいは光ディスクカートリッジにディスク名やコメントを直接書きこんで管理していても、格納情報量が大きく、とてもディスク名やコメントのみからはその媒体に得たい情報が格納されているかどうかは、人間の記憶にたよらざるを得ないのが現状である。

【0005】 近年になって、光記録媒体も多様化し、例えば、コンパクトディスク、CD-ROM、レーザーディスク、追記型ディスク、光磁気ディスク、相変化ディスク、光カード、追記型CDなど多種多様の媒体が市場に出回っている。これらの保管場所は、媒体の形状が異なるため、独自のケースやカートリッジに収納されているため、同一の場所で保管や管理がされているとは言いたい状況である。

## 【0006】

【目的】 本発明は、上述のごとき実情に鑑みてなされたもので、媒体の実駆動によらない検索時間の短縮化を図ること、また多品種媒体の一括管理（光記録媒体ライブラリ形成）を行うこと、また、媒体の汚れや傷つきからの保護を行うこと、さらに、あやまって落としてしまったときの媒体の破損防止を行うようにした収納ケースを提供することを目的としてなされたものである。

## 【0007】

【構成】 本発明は、上記目的を達成するために、(1) 本又はノート状の形態をとり、該本又はノート状の形態の中味のページ部分が、光記録媒体及び／又は光ディスクカートリッジを収納できる形状にくりぬかれた凹部を有すること、更には、(2) 前記凹部以外の各ページ部分に、情報記録領域を設けたこと、更には、(3) 前記(1)又は(2)において、前記凹部が、前記光記録媒体及び／又は前記光ディスクカートリッジを複数収納できる1つ又は複数の凹部であること、更には、(4) 前記(1), (2)又は(3)において、前記凹部に光記録媒体を保持するセンターポスを設けたこと、更には、

(5) 前記(1)において、前記本又はノート状の形態の背表紙部分に、情報記録領域を設けたことを特徴としたものである。すなわち、本発明は、光記録媒体及び光ディスクカートリッジを保護するための収納ケースであって、該収納ケースは、前記光記録媒体及び光ディスクカートリッジよりも、紙、機、厚みとも大きい寸法の、本又はノート状の形態をとり、該本又はノート状の収納ケースの中味のページが光記録媒体及び光ディスクカートリッジを収納できる寸法にくりぬかれ、必要に応じて、該くりぬき部に媒体の中心孔を保持するセンターポスを設けてなることを特徴とするものである。以下、本発明の実施例に基づいて説明する。

【0008】 図1は、本発明による収納ケースの一実施例を説明するための構成図で、図中、1は収納ケース、2は凹部（くりぬき部）、3は光ディスクカートリッジ

20

30

40

50

ジ、4は背表紙、5は情報記録領域である。収納ケース1は、本又はノート状の形態をとっており、表紙と裏表紙の間にはページ部分を有している。該ページ部分の寸法は、収納される光ディスクカートリッジ3よりも、紙、横、厚みとも大きい寸法を有している。

【0009】該凹部2以外の中味の各ページ部分には、情報記録領域5が設けられ、該情報記録領域5には、ユーザーがつけたディスク名や格納されているファイル名、覚書き、コメント等が付記される。各ページごとに前記光情報記録領域5が設けられているため、ユーザーが書き込む情報としては充分な量である。また、背表紙4にもユーザーのコメントや覚え言、管理ナンバー等が書き込まれる光情報記録領域が設けられ、必要に応じてシール等が貼り付けられる様な構成となっている。このように、背表紙4にも情報記録領域が設けられているので、本棚等に整理して収納されるので、光ディスクカートリッジをドライブに挿入して実駆動させなくとも、ある程度の検索が可能である。また、収納ケースを落と下せたとしても、光ディスクカートリッジが凹部2にしっかりと収納されているため破損を防止することができ

る。

【0010】図2は、光ディスクを収納するための収納ケースで、図中、11は収納ケース、12は凹部、13は光ディスク、14は背表紙、15はセンターpus、16は中心孔である。収納ケース11は、光ディスクがカートリッジ形態をとらない、例えば、CD、CD-R O M、追記型CD等の収納ケースである。凹部12には光ディスク13の中心孔16を保持するセンターpus15が設けられている。その他の構成は図1と同様である。

【0011】図3は、光カードを複数収納するための収納ケースで、図中、21は収納ケース、22a～22dは凹部、23a～23dは光カード、24は背表紙である。収納ケース21には複数の凹部22a～22dが設けられ、該凹部に光カード23a～23dが収納される。複数の光カードを一括して収納できるので管理機能の充実が図れる。その他の構成は図1と同様である。

【0012】図4は、異なる品種、例えば、光ディスクカートリッジと光ディスク単体を一括して収納するための収納ケースで、図中、31は収納ケース、32aは光ディスク単体を収納する凹部、32bは光ディスクカートリッジを収納する凹部、33aは光ディスク、33bは光ディスクカートリッジ、34は背表紙、35はセンターポスである。凹部32aに収納される光ディスク3

3aの中心孔に対応する表紙部分にはセンターpus35が設けられている。その他の構成は図1と同様である。

【0013】なお、本発明による収納ケースは、厚みを増すことにより、1つの凹部に複数枚の光ディスクあるいは光ディスクカートリッジを重ねて収納することも可能である。又、本発明の収納ケースの大きさは、媒体1枚を収納する収納ケースのもので、媒体に比べ横幅が1～50cm、好みくは5～30cm大きく、厚みは0.2mm～1.0mm、好みくは1mm～3mmの厚さのものがよい。

## 【0014】

【効果】以上の説明から明らかのように、本発明によると、以下のような効果がある。

(1) 光記録媒体あるいは光ディスクカートリッジを収納する凹部以外の中味の各ページ部分に情報記録領域を設け、該情報記録領域にディスク名やファイル名、覚書きやコメントが付記できるようにし、また、背表紙にも光情報記録領域が設けられているので媒体の実駆動することなく、ある程度の検索情報が得られ、情報検索時間の短縮化が図れる。

(2) 光ディスク単体や光ディスクカートリッジなどのように、異なる品種のものを収納できる凹部を複数設けたので、多品種媒体の一括保管が可能となる。

(3) 収納ケースが本又はノート状の形態をしており、表紙と裏表紙の間にページ部分を有し、該ページ部分に凹部を設け、該凹部に媒体を収納するようにしているので、媒体の汚れや傷つきからの保護ができる。

(4) 媒体を収納ケースの凹部に納め、保持用のセンターpusを設けているので、あやまって落した時の媒体の破損が防止できる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明による収納ケースの一実施例を説明するための構成図である。

【図2】 光ディスクを収納するための収納ケースを示す図である。

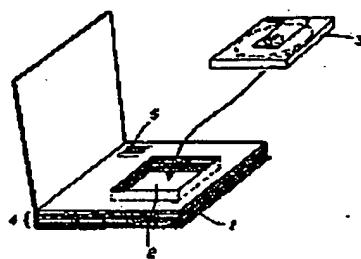
【図3】 光カードを収納するための収納ケースを示す図である。

【図4】 異なる品種を一括して収納するための収納ケースを示す図である。

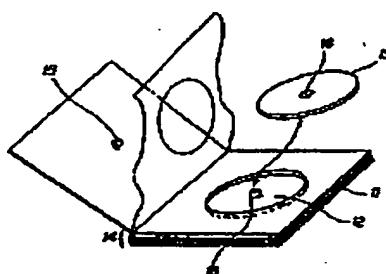
## 【符号の説明】

1…収納ケース、2…凹部(くりぬき部)、3…光ディスクカートリッジ、4…背表紙、5…情報記録領域。

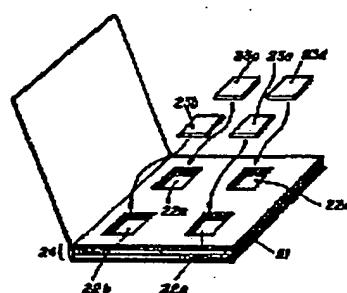
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

